



Vol. 3
音・ことば

はじめまして えほん

—0・1・2才のあかちゃんへ—



一宮市立子ども文化広場図書館

2012年6月

絵本をお口に持っていったら？

本をなめてガジガジしている子を見かけます。あかちゃんは、物を口で確かめる習性があるからです。絵本には、なめても安全な素材を使ったものもありますが、ある程度なめてあかちゃんのごきげんだったら、そっと離して1ページだけでも読んであげてください。けっしておこらないでね。そのうちに、めくる楽しさを覚えていきます。

今回は、リズムのある音やことばで楽しむ絵本を紹介します。



がちゃがちゃ どんどん

元永定正 さく
福音館書店 1990年

「がちゃがちゃ どんどん かーん かーん」
リズムのあることばがつつぎつつぎ出てきます。絵も
ことばに合った色や形でとても心ひかれます。



きゅっ きゅっ きゅっ

林明子 さく
福音館書店 1986年

「きゅっ きゅっ きゅっ」何の音
でしょう？あかちゃんといっしょに
「きゅっ きゅっ きゅっ」ふれあい
ながらよめそうです。



しましまぐるぐる

かしわらあきお え
学研 2009年

「しましま ぐるぐる」のことば
に合わせた配色や形が目をは
ひきます。あかちゃん目から
20センチくらいの位置で見
てあげるのが良いようです。





愛蔵版 だっだあー

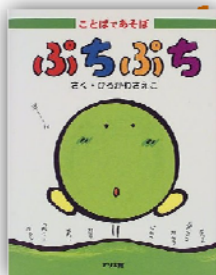
ナムーラムチヨ 作
主婦の友社 2010年

ねんどの顔が「だっだあー だらっ だらあー」とふしぎなことばでどんどんおしゃべりします。あかちゃんはこんなことばが大好きです。

てとてと だんごむし

みなみじゅんこ さく・え
ひさかたチャイルド 2008年

「いいてんき！さんぽにいこう！」とだんごむしが「てとてと」おでかけ。いろんなあなやトンネルをみつけます。めくってよめるしかけ絵本です。



ぷちぷち

ひろかわさえこ さく
アリス館 2000年

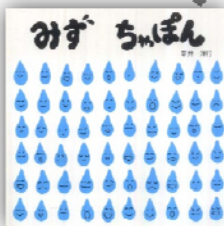
えんどうまめが「ぷちっ ぷちぷち ぽーん」とさやからはじけ出て、ころころころがっていくお話。えんどうまめとことばで楽しみましょう。

ぶっぶー ぶっぶー

長野ヒデ子 さく・え
ポプラ社 2008年

いろんな音をだしてはしるのりものがおりがみでたくさん紹介されています。「ぶっぶーくるま」のつくりかたものついていますよ。





みず ちゅぽん

新井洋行 さく
童心社 2011年

たいていのあかちゃんはみずであそぶのが好き。「ぴちあ」とおちてきたみず。どんどんたまつていく音にあかちゃんはどんな反応をしめすでしょう。

てん てん てん

わかやましすこ さく
福音館書店 1998年

「てん てん てん てんとうむし」リズムあることばでいきものを紹介。はじめてであう虫たちの絵本はいかがですか。



わんわん わんわん

高畠純 作
理論社 1993年

「わんわん わんわん」いぬがほえたら、ねこやぶた、うしなどがよってきます。そこに「プーン」「ゴッホ ゴッホ」とぞうやゴリラも。くすくす笑えます。



んぐまーま

大竹伸朗 絵／谷川俊太郎 文
クレヨンハウス 2003年

ふしぎなことばにふしぎな絵。ページをめくっていくうちにどンドンふしぎな世界へ。あかちゃんのはなすことばのようで親しみを感ずります。

